

# 災害から身を守るために

vol.5

「いざ」という時に…津波編(PART1)



シリーズ五回目の今回は、地震とあわせて大きな被害をおよぼすおそれのある「津波」について、いざという時の行動や心構えなどについてお知らせします。

津波の被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが、あわてずに適切な行動をすることが極めて重要です。

そのためには、皆さんが津波について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動できるよう、日ごろから正しい心構えを身につけておくことが大切です。

特に、二〇二〇年末ごろまでに八％という極めて高い発生確率で起きるとされる宮城県沖地震（三陸沖南部海溝寄り地震と連動）の場合、大津波が起る恐れがあることから、

地震と併せ、津波に対して十分に注意する必要があります。

## ◇津波から逃げるためには…

大きな揺れを感じたら、津波がやってくる可能性があります。地震だけでなく、津波に対する注意も必要です。

●火元を確認し、まず避難することを考える

●強い地震（震度四程度以上）を感じたとき、または弱い地震であっても、長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海辺から離れ、急いで高台に避難する（逃げる際もできる限り高台に一番近い道を通る）

●地震を感じなくても、津波警報が発表されたときには、直ちに海辺から離れ、急いで高台に避難する

●津波は繰り返し襲ってくるので、

警報・注意報が解除になるまでは、海岸や浜などには戻らず、気をゆるめない  
●津波の見物（やじうま）などはしない  
●正しい情報をテレビやラジオなどで入手する（避難が第一、第二に避難先での情報入手）

## 一口メモ

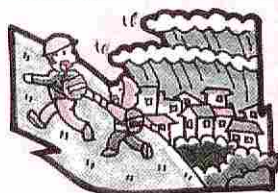


### ●テレビなどで気象庁から発表される津波予報の種類は…

津波の予報区ごとに発表される津波予報の種類、解説、津波の高さは次のとおりです。

予報の種類	解説	発表される津波の高さ
津波警報	大津波 高いところで3m程度以上の津波が予想されますので、厳重に警戒して下さい。	「3m」、「4m」、「6m」、「8m」、「10m以上」
	津波 高いところで2m程度の津波が予想されますので、警戒して下さい。	「1m」、「2m」
津波注意報	津波注意 高いところで0.5m程度の津波が予想されますので、注意して下さい。	「0.5m」

※津波の予報値は、宮城県の場合、県全体で一つの予報値（県全体の予測平均値）であることから、三陸海岸のような入り組んだ地形では、ところによって発表される津波の高さ以上になることがあります。



今回は「いざ」という時に…津波編(PART2)と題して、津波が発生するしくみなどについてお知らせします。  
問合せ先 市総務課危機管理室  
防災交通安全係 ☎(22)6600  
0内線221